

常滑市民病院と全国と同規模の「黒字」社会保険病院(10病院)とのH22年度収支比較

(単位:千円、人、%) 丸数字は11病院中の順位

	愛知県 常滑市民病院		北海道 札幌		熊本県 人吉		香川県 栗林		宮崎県 宮崎		大分県 南海		奈良県 奈良		石川県 金沢		東京都 蒲田		宮城県 宮城		千葉県 千葉	
許可病床数	256		276		274		271		269		260		253		250		230		200		200	
病床利用率	71%		62%		66%		66%		78%		66%		66%		75%		76%		60%		69%	
患者延数	66,268		62,709		65,500		65,425		76,881		62,303		60,508		66,639		63,420		44,057		50,142	
外来	140,566		168,764		68,822		112,031		63,546		113,695		122,241		134,439		124,512		59,825		128,418	
1日平均	182		172		180		179		211		171		166		188		174		121		137	
外来	579		695		283		461		262		468		503		553		512		246		529	
保健予防活動実施件数			17,668		16,433		19,222		14,125		11,254		21,404		71,842		25,515		28,117		36,185	
職員数	322		451		383		343		417		387		329		403		298		245		338	
入院収益	2,582,738	66%	3,484,999	59%	3,628,936	72%	2,658,227	66%	2,876,067	65%	2,996,465	57%	3,051,837	65%	2,963,035	52%	2,310,060	49%	1,962,185	62%	2,199,562	46%
外来収益	1,206,005	31%	1,765,925	30%	1,010,022	20%	886,168	22%	1,135,857	26%	1,623,985	31%	1,009,617	22%	1,510,960	26%	1,716,407	36%	708,864	22%	1,688,200	35%
保健予防活動収益	0	0%	215,249	4%	254,121	5%	290,675	7%	141,779	3%	142,471	3%	227,509	5%	712,402	12%	350,455	7%	255,990	8%	546,364	11%
その他収益	110,557	3%	454,253	8%	147,303	3%	190,831	5%	289,700	7%	450,289	9%	396,477	8%	563,711	10%	370,071	8%	235,571	7%	389,007	8%
医業収益計	3,899,300		5,920,426		5,040,382		4,025,901		4,443,403		5,213,210		4,685,440		5,750,108		4,746,993		3,162,610		4,823,133	
給与費	2,609,599	67%	2,949,539	50%	2,576,251	51%	2,248,632	56%	2,353,538	53%	2,591,751	50%	2,343,090	50%	2,503,916	44%	2,285,593	48%	1,703,484	54%	2,672,124	55%
材料費	928,902	24%	1,269,541	21%	959,879	19%	839,522	21%	959,746	22%	1,215,072	23%	1,023,810	22%	1,126,915	20%	1,198,267	25%	663,697	21%	960,928	20%
経費	980,683	25%	1,699,290	29%	1,114,616	22%	843,019	21%	778,484	18%	1,207,190	23%	1,164,850	25%	1,549,212	27%	1,167,259	25%	727,680	23%	1,166,927	24%
内 委託費	467,833	12%	683,190	12%	487,468	10%	279,366	7%	93,941	2%	199,145	4%	426,235	9%	504,735	9%	495,470	10%	206,749	7%	378,202	8%
医業費用計	4,519,184		5,918,370		4,650,746		3,931,173		4,091,768		5,014,013		4,531,750		5,180,043		4,651,119		3,094,861		4,799,979	
医業損益	-619,884	-16%	2,056	0%	389,636	8%	94,728	2%	351,635	8%	199,197	4%	153,690	3%	570,065	10%	95,874	2%	67,749	2%	23,154	0%
入院単価(円/日)	38,974	⑨	55,574	①	55,404	②	40,630	⑧	37,409	⑩	48,095	④	50,437	③	44,464	⑥	36,425	⑪	44,537	⑤	43,867	⑦
外来単価(円/日)	8,580		10,464		14,676		7,910		17,875		14,284		8,259		11,239		13,785		11,849		13,146	
保健予防単価(円/日)	#DIV/0!		12,183		15,464		15,122		10,037		12,660		10,629		9,916		13,735		9,104		15,099	
職員1人当たり年間収益	12,125	⑨	13,122	⑦	13,167	⑥	11,734	⑩	10,658	⑪	13,481	⑤	14,259	③	14,275	④	15,956	①	12,898	⑧	14,287	②
職員1人当たり年間給与	8,114	①	6,537	⑨	6,730	⑥	6,554	⑧	5,645	⑪	6,702	⑦	7,131	④	6,216	⑩	7,683	③	6,947	⑤	7,915	②

(出所:常滑市民病院は100人会議資料。社会保険病院は「平成22年度 社会保険病院決算書(施設別)」)

<11病院比較コメント>

- 病床利用率は高いところでも78%であり、7病院は60%台でも利益を計上できている。
- 1日当たりの外来患者数は、1病院を除いてすべて常滑よりも少ない。
- 保健予防活動収益は、常滑を除いて残り10病院では医業収益に少なからず貢献している。
- その他収益には、ベッドの差額室料収益等が含まれており、1病院以外では医業収益に大きく貢献している。
- 給与比率は、残り10病院は56%から44%であり、常滑は圧倒的に高いレベルである。
- 材料費比率は院外処方との関係もあるが、どこも20%台であるが、常滑は特に高いレベルにある。
- 経費の比率は、29%から18%であり、常滑は平均レベルであるが、委託費比率は、最も高いレベルである。
- 医業損益率は、常滑以外は10%~0%であり、以上のような状況のなかで、10病院全てが利益を計上している。
- 入院単価は、5万円台と4万円台と3万円台に分かれるが、単価が高いところが必ずしも利益が大きい訳ではなく、常滑より低い宮崎でも利益率は8%である。
- 職員一人当たりの年間収益と年間給与は、ほとんど同じ傾向を示し、年間収益が高いところは、年間給与も高いが、常滑だけは年間収益が最下位レベルなのに年間給与は最も高い。

* 以上を総括すると、

黒字化のためには、入院患者数の増加(病床利用率増加)、入院単価の向上及び入院収益以外(外来、保健予防、差額室料等)の収益向上が必要であるが、医業収益の規模に見合った人件費及び材料費の抑制を行うことが必須である。

(単純試算では、常滑市民病院は給与比率+材料費比率を17%ダウンすると黒字化する)

以上